

令和六年度 入学式式辞

新入生の皆さん、そして保護者の皆様、大湊高校へようこそ。心から歓迎申し上げます。皆さんにとって、新たな三年間の旅が今日から始まります。

まず初めに、新入生の皆さんに心からお祝い申し上げます。ここは、皆さんの夢や目標を実現するための学校です。みなさんが自分の殻を破り、大きく成長するための学びの場です。

保護者の皆様にも心からのお祝い申し上げるとともに、深く感謝申し上げます。皆様のご理解により、大切なお子様を本校にお迎えすることができました。

大湊高校は総合学科の学校です。普通科高校と専門高校の良さを融合させた新しい学校です。ここでは、校内での学びはもちろん、学校の外に飛び出し、実際の現場に出向いて学んだり、本校の先生以外の専門家から教える機会もたくさんあります。グローバル時代を見据え、時に海外との交流機会もあるのです。実に幅広い学びの機会に出会える学校です。

今時代は、皆さんがこれまで過ごしてきた時代とは異なる次元に突入しています。二〇一五年一二月、「AI(Artificial(人工)Intelligence(知能))の導入によって日本の労働人口の四九パーセントの仕事が、二〇年以内に人工知能やロボット等に奪われる」というショッキングなレポートが、野村総研とオックスフォード大学の共同研究によって発表されました。発表から八年以上が経過しましたが、昨今のAIの進化の早さには、驚きを超えて恐ろしささえ感じます。あと一〇年ほどで現在ある仕事の約半分が無くなるという報告が、現実みを帯びてきたように思われます。

では、一体どうしたらいいのでしょうか。

考えてみてください、確かに半分の仕事はなくなりますが、AI時代においても依然として必要

とされる仕事はあるのです。それはAIが苦手とする「発想力や想像力」が求められる仕事、「コミュニケーション」が必要になる仕事だと言われています。これからの時代を生き抜くためには、「発想力、想像力、コミュニケーション力」を鍛え、身につける必要があります。

「発想力、想像力、コミュニケーション力」。AI時代を生き抜くために必要なこれらの力を、鍛えよう、育成しようとしている学校こそが、この大湊高校なのです。総合学科というのは、先行きの見えない不透明な時代を生き抜く人間を育てるために作られた学科なのです。

新入生の皆さん、そして保護者の皆様、我々は知恵を絞り、汗を流して、できる限りの学びの環境を提供するために頑張ります。しかし、一番重要なのは、ここで学ぶ生徒本人の覚悟です。そして保護者の皆様にも覚悟していただきたい。大変な時代を迎え、待ち受けるとんでもない困難を突破する力をつけるのに、生徒自身の前向きな姿勢、努力がないことには、どうしようもないのです。どんなに素晴らしい環境があっても、チャンスが提供されても、それを生徒本人が活かさないことにはどうしようもない。

大湊高校は日本一「悩める」、つまり「悩むことができる」、学校でありたいと考えています。悩みがないのは幸せなことのようにですが、悩みなくして人間の成長はありません。学校の枠を超え、専門家の力を借り、地域の力を借り、そして保護者の皆様にも力を借していただき、一つのチームとなって、総力をあげて、生徒たちに様々な学びの機会、挑戦の機会を提供し、「悩む」機会を与え、生徒たちが自分で自分を成長させようとすることをサポートしようとしているのが大湊高校なのです。

新入生の皆さん、このチャンスを生かしてください。学びの場として、この学校は最高の学校です。この学校で大いに悩み、自分を鍛えてください。殻を破ってください。そして、夢・目標を実現し

てください。我々もまた、皆さんと一緒に悩みながら、皆さんの夢・目標の実現のために伴走します。

保護者の皆様、どうかお子様の成長のために、本校の教育に更なるご理解を賜り、最大級のご協力をお願いします。

ようこそ、日本で一番“悩める”大湊高校へ。

令和六年四月六日

青森県立大湊高等学校

校長 伊藤文一